

平成23年第2回常陸太田市議会定例会会議録

平成23年3月10日(木)

議 事 日 程 (第4号)

平成23年3月10日午前10時開議

日程第 1 議案質疑 議案第2号ないし議案第35号

日程第 2 請願第1号

本日の会議に付した事件

日程第 1 議案質疑 議案第2号ないし議案第35号

日程第 2 請願第1号

出席議員

議 長	茅 根 猛 君	副議長	山 口 恒 男 君
1 番	藤 田 謙 二 君	2 番	赤 堀 平二郎 君
3 番	木 村 郁 郎 君	4 番	深 谷 渉 君
5 番	鈴 木 二 郎 君	6 番	平 山 晶 邦 君
7 番	益 子 慎 哉 君	8 番	菊 池 伸 也 君
9 番	深 谷 秀 峰 君	10 番	高 星 勝 幸 君
11 番	荒 井 康 夫 君	12 番	成 井 小太郎 君
14 番	片 野 宗 隆 君	15 番	福 地 正 文 君
17 番	川 又 照 雄 君	18 番	後 藤 守 君
19 番	黒 沢 義 久 君	20 番	沢 畠 亮 君
21 番	高 木 将 君	22 番	宇 野 隆 子 君

説明のため出席した者

市 長	大久保 太 一 君	副 市 長	梅 原 勤 君
教 育 長	中 原 一 博 君	総 務 部 長	大 森 茂 樹 君
市民生活部長	豊 田 紀 雄 君	保健福祉部長	安 田 隆 君
産 業 部 長	江 幡 治 君	建 設 部 長	菊 池 拓 夫 君
会 計 管 理 者	岡 部 芳 雄 君	水 道 部 長	大和田 猛 君
消 防 長	菊 池 勝 美 君	教 育 次 長	川 上 明 文 君
秘 書 課 長	宇 野 智 明 君	総 務 課 長	山 崎 修 一 君
監 査 委 員	中 村 弘 君		

事務局職員出席者

事務局 長 時野谷 彰
主査兼議事係長 関 勝 則

副参事兼総務係長 吉 成 賢 一

午前 10 時開議

- 議長（茅根猛君） ご報告いたします。
ただいま出席議員は 22 名であります。
よって、定足数に達しております。
直ちに本日の会議を開きます。

-
- 議長（茅根猛君） 本日の議事日程は、お手元に配付いたしました議事日程表のとおりといたします。
-

日程第 1 議案質疑 議案第 2 号ないし議案第 35 号

- 議長（茅根猛君） 日程第 1，議案質疑を行います。

議案第 2 号から議案第 35 号まで、以上 34 件を一括議題といたします。通告がありますので発言を許します。

22 番宇野隆子君の発言を許します。

〔 22 番 宇野隆子君登壇 〕

- 22 番（宇野隆子君） 皆さん、おはようございます。日本共産党の宇野隆子です。私は提出されております議案 3 件、議案第 13 号、議案第 17 号、議案第 19 号について質疑を行います。

まず、議案第 13 号水郡線常陸太田駅改良工事平成 23 年度委託契約の締結について伺います。この駅改良工事につきましては駅舎ができ上がるということで、今月 26 日にはいろんなイベントが準備されておりますけれども、今回、23 年度委託契約の契約金額 1 億 2,681 万 8,000 円、63 ページにあります工事の内容、この主な工事にどのようなものがあるのか。ここには駅舎撤去、駅舎通信設備撤去一式というような内容で記載されておりますが、主な工事、あとのような細かいものが残っているのか伺いたいと思います。

それから、契約の金額ですけれども、これは平成 21 年度から平成 23 年度の 3 カ年の随契で行われておりまして、その金額が 8 億 4,307 万 6,000 円ということになっておりますので、議案第 12 号の契約変更後の金額が 6 億 5,852 万 8,000 円、こういったものを差し引いたこの総工事の随契の金額がここに上げられているかと思います。今後の精算金、東日本旅客鉄道株式会社が契約の相手ですけれども、精算金がどのくらいになるのか、わかれば伺いたいと思います。

もう一点は、最終的に JR の負担金が幾らになっているのか、また、それはどの工事部分についてなのか伺いたいと思います。

次に、議案第 17 号平成 22 年度常陸太田市一般会計補正予算について伺います。この補正額

は1ページにもありますように、歳入歳出それぞれ4億4,652万4,000円を追加するという
ことで、2分の1以上は新たな交付金、「地域活性化・きめ細かな交付金」、「地域活性化・住民生
活に光をそそぐ交付金」などがありますけれども、その中で5点伺いたいと思います。

まず、13ページの歳入ですけれども、1款の市民税、市税です。この中で、個人の補正額が
1,024万8,000円、合計で23億5,285万5,000円。2の法人、これは1億6,079
万4,000円が補正前の額ですけれども、補正が2,952万9,000円。合わせて1億9,03
2万3,000円ということになっておりますが、昨年の最終予算と比べまして、個人市民税は昨
年度よりも若干減っておりますが、この要因を伺いたいと思います。法人税につきましては、昨
年が1億6,000万円ですから若干回復しているのかなと思いますけれども、この増の要因につ
いても伺いたいと思います。

次に、ページ14、上段の目1総務費国庫補助金、補正額が2億2,602万3,000円。この
中の「地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金」で新たに3,800万円の交付金が国から出て
おりますけれども、本会議で4事業に充てるといような話がありましたので、この4事業に充
てた理由。国の補助金で何でも使っていよいというのであれば優先順位によって事業を行うこと
もできるでしょうけれども、交付金の要項といいますか概要、使う範囲も決められている中で、
どのような検討をされて4事業にそれぞれ充てたのか、まずそこを伺いたいと思います。

この4事業ですけれども、1つは25ページ、緊急通報システム購入費。もう一つは福祉施設
の設備費等改修工事666万6,000円。これは「くにみ」の改修ということで、空調設備、そ
の他調理場等々の改修ということを伺っておりますが、今「くにみ」では訓練生がお弁当持ちで
行っているわけですけれども、この調理場改修によって、例えば今度は虹の家とかと同じように
食事を出せるようになるのかどうか、そのあたりまで伺いたいと思います。

それから、36ページの図書購入費400万円と、もう一つがページ36の施設備品購入費、
生涯学習センターへのプロジェクターの購入費ですけれども、これが結構金額が大きいんです。
こんなにするのかと……。どういう物を購入する予定なのか。ページ36、一番下の生涯学習
センターの18備品購入費2,558万7,000円。プロジェクター購入ということで説明はあり
ましたけれども、どのような物を購入する予定でいるのか、これまでの物と比べてどうなのか伺
いたいと思います。

次に3点目になりますが、30ページの農業費について1点伺いたいと思います。目の8水田
利活用自給力向上事業費の節の19補助金ですけれども、地域水量調整円滑化推進事業費160
万円の減ということになっておりまして、これは左を見ますと国・県支出金、国からの補助金で
すけれども、これがそっくり減となっていることについて伺いたいと思います。当初予算を見ま
すと187万円計上されておりまして、国からの補助金160万円を差し引きますと27万円残
るわけですけれども、これの使い道についても伺いたいと思います。

次、4点目として33ページの消防費です。目の3消防施設費工事請負費、節の15の800
万円、防火水槽整備工事。これは差金ということで、工事には確かに差金つきものですが、
1基当たり300万円台から、例えば場所によっては矢板などの工事に伴って700万円台

になるときもありますが、非常に差金が多額だと思ひまして、どういった予算を当初立てたのか、場所を早く選考することができないのか、この点について伺いたひと思ひます。

5 点目です。35 ページの目の3 学校建設費、節の15 工事請負費9,381 万1,000 円、瑞竜中学校の校舎耐震改修工事ですけれども、9 ページを見ますと12 月に債務負担行為で上げられているわけですが、これを廃止しまして今回補正予算に組み替えられているわけですが、国の補助金の関係もありますけれども、12 月の時点で補正として上げられなかったのかどうか、その辺の理由を伺いたひと思ひます。

一般会計は以上です。

もう一点は、介護保険です。議案第19 号常陸太田市介護保険特別会計補正予算、この中で歳出の目の2 施設介護サービス給付費、この1 点について伺いたひと思ひます。

これは節の19 を見ますと1 億3,101 万円の減ということになっておりまして、介護老人保健施設への入所が当初見込みより少なかったということで減が出ていると思ひますけれども、この施設の入所状況について伺いたひと思ひます。

以上で1 回目の質疑を終わります。

○議長（茅根猛君） 答弁を求めます。建設部長。

〔建設部長 菊池拓夫君登壇〕

○建設部長（菊池拓夫君） 議案第13 号の水郡線常陸太田駅改良工事平成23 年度委託契約の締結についてのご質疑にお答えいたします。

23 年度の工事の内容でございますが、残存しております旧駅舎及び券売機の撤去、また、施設に配線されている通信設備の撤去でございます。平成23 年度の締結金額1 億2,681 万8,000 円の内容についてでございます。事業実施に当たりましては、3 年間の債務負担を年度ごとに設定しておりまして、23 年度債務負担分1,747 万2,000 円と、また、全体協定を締結し年度ごとに工事を執行しておりますが、そのうち22 年度に減額した額1 億934 万6,000 円を合わせた額でございます。

工事の内容、額についてでございますが、平成21 年にJR との全体施工協定締結時に工事の概要について協議をした結果、鉄道を運行させながらの工事となることから、安全を最優先にしなければならない工事の特殊性、また、鋼材、燃料費等の変動もかんがみまして、上限で施工協定を結んでいることによるものでございます。

今後の精算についてでございますが、23 年度の事業として4 月末に工事が完成いたしますので、完成後、工事内容を詳細に精査いたしまして、全体協定を決定してまいりたいと考えておりますので、額については現時点では把握してございません。

JR の負担金でございますが、JR の施設であります旧駅舎の残存価格2,080 万円を駅舎等の工事の費用として負担をするものでございます。

○議長（茅根猛君） 総務部長。

〔総務部長 大森茂樹君登壇〕

○総務部長（大森茂樹君） 議案第17 号平成22 年度常陸太田市一般会計補正予算（第4 号）

につきましてのご質疑にお答えいたします。

補正予算書 13 ページでございます。1 款 1 項市民税個人及び法人の予算額でございますが、市民税個人につきましては、平成 21 年度最終予算額 25 億 6,490 万 7,000 円、平成 22 年度補正の予算額 23 億 5,285 万 5,000 円と比較しますと、2 億 1,205 万 2,000 円、8.3% の減となっております。なお、今回の補正予算につきましては、滞納繰り越し分の徴収が見込める額 1,024 万 8,000 円の補正増を計上したところでございます。また、市民税法人につきましては、平成 21 年度最終予算額 1 億 5,986 万 4,000 円、平成 22 年度補正の予算額 1 億 9,032 万 3,000 円と比較しますと 3,045 万 9,000 円、19.1% の増となっており、平成 22 年度において増収が見込める 2,952 万 9,000 円の補正増を計上したところでございます。

この要因としましては、今年度の市民税個人につきましては、平成 21 年分の所得に対して課税をしておりますので、平成 21 年分の個人の所得が景気の影響を受け前年度より低かったことによるものであると受けとめております。

一方、市民税法人につきましては、法人によって事業年度が異なりますが、予定納税や確定による申告納税納付額が前年に比較して増えており、当市におきましても景気の回復の兆しが見えたものと受けとめております。

続きまして、「地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金」の充当事業についてのご質問にお答えいたします。

「地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金」でございますが、これまで住民生活にとって大事な事業でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野に対して、地方の取り組みを支援することとしまして、平成 22 年度国の補正予算に計上されたものでございます。

対象事業としましては、1 つとして地方消費者行政に関するもの。2 つとしてDV 対策、自殺予防等の弱者対策、自立支援に関するもの。3 つとして、知の地域づくりに資するものとされております。本市におきましても 3,800 万円を限度とする配分があったため、県、内閣府と協議を行った上で充当事業を決定したものでございます。

充当事業としましては、高齢者世帯などに対する弱者対策として、緊急通報システム 30 台の購入費、障害弱者対策とその自立支援対策としまして、心身障害者福祉センター「くにみ」における空調機器の改修費及び調理実習台などの整備費用、知の地域づくりに資するものとして、図書館の図書購入費や生涯学習センターに新たなプロジェクターを含む舞台音響映像設備などを購入する経費に対して財源を充てることといたしました。せっかくの財源でございますので、これらを十分に活用し、弱者対策や知の地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

なお、ご質問にございました「くにみ」の改修整備事業及び生涯学習センター事業の内容の詳細につきましては、担当部からご答弁申し上げます。

○議長（茅根猛君） 保健福祉部長。

〔保健福祉部長 安田隆君登壇〕

○保健福祉部長（安田隆君） 保健福祉部関連の 2 つのご質疑にお答えを申し上げます。

「地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金」の中で、３款民生費１項社会福祉費４目障害福祉費のご質疑にお答えを申し上げます。

この厨房備品購入費でございますが、多機能福祉サービス事業所「くにみ」では、自立した生活ができるよう自立訓練として炊事、洗濯、掃除等の能力向上の訓練を実施しておりますが、炊事につきましては現在設備が十分でないため、総合福祉センターの調理施設を利用しまして、月に１回から２回程度実施をしております。このため、「くにみ」におきまして炊事訓練ができるよう調理実習台、ガステーブル、給湯器等を整備するものです。なお、調理したものは利用者の昼食としてその都度食べるということで考えております。

続きまして、議案第１９号介護保険特別会計補正予算の中で、施設入所者の現状ということでございますが、今回の補正につきましては、施設介護サービス給付費が当初の見込みを下回ったことによるものでございます。

この内容を申し上げますと、施設サービスの利用人数ですが、当初予算において月平均７０６名、延べ人数で申しますと８,４７３人、総額で２１億５７２万４,０００円を見込み、予算計上をいたしました。しかし実績見込みでは、月平均６６０人、延べ利用人数で７,９２０人、総額で１９億７,４７１万４,０００円と見込まれ、月平均４６人、年間で５５３人の利用人数が下回ったことによって今回の補正１億３,１０１万円の減となるものです。

○議長（茅根猛君） 教育次長。

〔教育次長 川上明文君登壇〕

○教育次長（川上明文君） 議案第１７号一般会計補正予算の中の教育費関係のご質疑にお答えをいたします。

初めに、「地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金」の教育費関係への充当事業でございますが、補正予算書３６ページ、５項社会教育費６目図書館費１８節の備品購入費の図書購入費４００万円につきましては、市立図書館の蔵書を充実し多くの市民にご利用いただくため、図書を購入する費用でございます。購入する図書につきましては、郷土資料、高齢化関係資料、男女共同参画関係資料、ビジネス支援関係資料、団塊の世代関係資料、少子化対策関係資料等を予定しております。

次に、１０目生涯学習センター費１８節の施設備品購入費につきましては、生涯学習センターふれあいホール音響調整室内の舞台映像設備であります大型プロジェクターほか、ブルーレイプレーヤー、投影用のレンズ、プロジェクターの架台、こういうものを含めまして周辺機器８点、また、ＩＴＶと呼ばれるモニターの映像設備でありますＩＴＶカメラ、モニター、それからシステムのコントロールユニット、こういうものを含めまして９点の機器の更新を行うものでございます。

これらの設備は、平成１１年４月のオープン以来使用しているものでございまして、設置後１２年以上が経過いたしまして老朽化が進むとともに、メーカーにおいても機能維持の部品の供給が既に停止されている状況にあり、故障した場合には修理ができず利用者の皆様に長期にわたってご不便をおかけするおそれがございます。同様に、モニター映像設備につきましても規格の古

さや老朽化により使用に支障を来していることから、最新のデジタル技術を利用したシステムに更新しようとするものでございます。

なお、昨年はホール使用の約 23%において映像設備が使用されておりまして、今回の機材更新により明るい鮮明な画像となり、利用者の皆さんに快適にご利用いただけるものと考えております。

次に、補正予算書 35 ページの 3 項中学校費 3 目学校建設費の瑞竜中学校校舎耐震改修工事の予算 9,381 万 1,000 円を 12 月の定例議会に一括計上しなかったことについてでございますが、昨年 12 月議会に提出いたしました補正予算におきましては、国の平成 22 年度経済危機対応地域活性化予備費に係る交付金充当事業が繰り越しできなかったことから、本年度中に執行可能な事業費といたしまして 1,618 万 9,000 円の歳出予算と、平成 23 年度の交付金事業として 9,381 万 1,000 円の債務負担行為を設定いたしまして、合計で 1 億 1,000 万円の予算を計上したところでございます。

今回の補正予算でございますが、12 月議会最終日である 12 月 24 日付で、国の平成 22 年度第一次補正予算により平成 23 年度分交付金を本年度分として交付決定するものの内示通知がありましたことから、来年度の債務負担行為分を本年度の歳出予算に振り替えて計上したところでございます。

なお、国の補正予算に係るものにつきましては繰り越しが可能であることから、あわせて繰越明許費の補正を行っているところでございます。

○議長（茅根猛君） 産業部長。

〔産業部長 江幡治君登壇〕

○産業部長（江幡治君） 議案第 17 号一般会計補正予算の中の 30 ページ、8 目の水田利活用自給力向上事業の補助金 160 万円の減額補正についてのご質問にお答えをいたします。

地域数量調整円滑化推進事業費補助金につきましては、米政策の改革を推進する常陸太田地域水田農業推進協議会への市を経由する県の補助金であることから、県支出金と補助金の減額が同額となったものでございます。当初予算におきましては、前年度の実績に基づきまして 187 万円を計上しております。

しかし今年度、戸別所得補償制度モデル事業が開始になったことに伴い、補助対象経費が 12 の項目から生産数量目標設定に関する会議に係る経費、ビジョンの見直し・実現に係る経費、方針作成者への指導・研修に係る経費、この 3 項目だけが補助対象経費になりました。これにより 27 万円相当分が該当になったわけですが、ソバ等の生産拡大を含めた戸別所得補償制度の地区説明会の経費として、主に印刷製本費、消耗品費として使用してございます。

○議長（茅根猛君） 消防長。

〔消防長 菊池勝美君登壇〕

○消防長（菊池勝美君） 議案第 17 号平成 22 年度常陸太田市一般会計補正予算の中の消防費関係のご質疑にお答えをいたします。

33 ページの 3 目消防施設費でございますが、今回減額補正を上程いたしました防火水槽整備

工事につきましては、当初予算におきまして9カ所を計画いたしまして、4,320万円を予算計上させていただきました。そのうち6カ所が竣工いたしましたので、その分の差金を減額するものでございます。

これら6カ所の設置工事につきましては、7月に指名競争入札により契約をしたところ、それぞれの工事請負額に差金が生じまして、合計800万円の減額補正を行うものでございます。残りの3カ所につきましては、今月の15日に竣工予定となっております。

また、これらの防火水槽につきましては、各町会長さん方をお願いをして要望等を取りまとめて、順次設置をしているところでございます。

なお、この防火水槽設置工事につきましては、鉄筋コンクリートづくり、現場打ち40トンの基本設計といたしまして、1基当たり工事設計額が480万円の予算を計上しておりますが、ただいま議員さんご指摘のとおり、1基当たり300万円、そして矢板等を使った場合には700万円程度という大きい差が生じますことから、今後は予算編成をする段階におきまして関係部署と十分に内容精査を行い、さらに精度の高い予算編成に努めてまいります。

以上です。

○議長（茅根猛君） 22番宇野隆子君。

〔22番 宇野隆子君登壇〕

○22番（宇野隆子君） ご答弁をいただきましてありがとうございます。

議案第13号の水郡線常陸太田駅改良工事平成23年度委託契約の締結についてですけれども、先ほど主な工事内容、それから精算金の関係とJRの負担金ということで伺いましたが、4月末には事業が完了ということでありますけれども、精算金というのは、大よそどのぐらいというのは出ないのでしょうか。JRとの協議もあるでしょうけれども、後々はあるんでしょうが、見通しとしてどれぐらいの全体の工事になるのかなと思ったときに、どのぐらいの精算金が出るのかということ伺ったんですが、この辺は難しいのかどうか伺います。

それから、2,080万円のJRの負担金ですけれども、駅舎等の工事ということで、先ほどお話されましたけれども、具体的にはどういうものなのか、これについて再度伺いたと思います。

一般会計の補正ですけれども、市税法人税についてはわかりました。常陸太田の職員も給与カットになっておりまして、これが大体4,000万円近くなったかと思ったんですが、今数字は覚えていないんですけれども、そういったことを1つとってみましても、こういう社会情勢の中で賃金が低くなっていると、そういう状況のあらわれであるということで、補正額についてはわかりました。

国はいろいろと交付金について名前を付けてくるわけですが、今回「住民生活に光をそそぐ交付金」ということで、「光をそそぐ」ですから、先ほどのお話にもありましたが、これまで光の当てられなかったところへの事業ということで、弱者対策、DVといったこと、自殺予防というようなことで充てられたということで、4事業についてはそれぞれ必要なことでありますので了解はいたしました。

緊急通報システムも30台購入するということで、新年度の予算にもこの備品購入費を上げら

れておりますけれども、そういうことで緊急通報システムについても購入を拡充するということになると思いますので、これについても了解はいたしました。

一般会計については、5点お聞きいたしまして内容的にはわかりました。

水田利活用自給力向上事業費ですけれども、これも新年度予算にももちろん上げられておりますが、この分については今後市からではなく、所得補償制度等との関係もあって国から直接水田協に補助がいくということになるのでしょうか。それだけ1つ伺いたいと思います。

もう一つは、議案第19号の介護保険特別会計ですけれども、これについては、確かに当初見込みよりも入所者数の減ということで、これは待機者が200名以上いるわけですが、その中であきがなく入れなかったというようなことで減になったと考えて理解してよろしいのかどうか。200名以上の待機者がいるわけで、ベッド数が増えともう少し待機者を減らすことができると、新年度でこういうような考えがあるのかどうか、参考までにお聞きできればと思います。

以上で私の議案質疑を終わりにいたします。

○議長（茅根猛君） 答弁を求めます。建設部長。

〔建設部長 菊池拓夫君登壇〕

○建設部長（菊池拓夫君） 精算金についてのご質問でございます。

先ほど申しましたように、上限で協定を結んでおるということで、ＪＲからは減額になりますというような考えはいただいているところでございます。

それと2つ目の負担金をどこの部分に充てるかというご質問でございまして、あくまでも工事費に投入するという考えでございしますので、どこの部分ということではなくて、工事費の中で使っていくということになると思います。ご理解をお願いします。

○議長（茅根猛君） 産業部長。

〔産業部長 江幡治君登壇〕

○産業部長（江幡治君） 議案第17号一般会計補正予算の農業費の再度のご質問にお答えをいたします。

先ほど申し上げました補助対象経費3項目分につきましては、従来どおり市を経由したものとしますが、他の経費につきましては、国より直接交付をされることとなります。ただ、この水田農業推進協議会につきましては、戸別補償制度の中で、国のほうでこの制度を改めていくような動きがございしますので、現段階では国から直接交付されることになっておりますが、制度改革になった場合には、また違った動きになってくると考えております。

○議長（茅根猛君） 保健福祉部長。

〔保健福祉部長 安田隆君登壇〕

○保健福祉部長（安田隆君） 議案第19号介護保険特別会計についての再度のご質問にお答えを申し上げます。

介護療養型医療施設ですが、平成23年度末をもって廃止するという方針が国から示されました。当市としましても、計画策定に当たりまして介護療養型医療施設の廃止に伴う影響数などに

つきまして、県が示した数を勘案して平成２２年度当初予算を積算しました。しかしながら、全国的に介護療養型医療施設の廃止が思うように進まないという状況から、平成２３年度末での施設廃止が凍結されるようになりました。この影響により、受け皿として見込んでおりました介護老人保健施設の整備が進まない状況ということで施設への入所ができなかったため、当初の見込みを下回ったということでございます。

なお、特別養護老人ホームについてですが、松栄荘がベッド数１０床増になるということでございます。

○議長（茅根猛君） 以上で質疑を終結いたします。

○議長（茅根猛君） お諮りいたします。

議案第２６号から議案第３５号まで、以上１０件については、１０人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（茅根猛君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第２６号から議案第３５号まで、以上１０件については、１０人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決しました。

○議長（茅根猛君） お諮りいたします。

ただいま設置されました予算特別委員会の委員については、委員会条例第７条第１項の規定により、藤田謙二君、赤堀平二郎君、木村郁郎君、深谷渉君、鈴木二郎君、高星勝幸君、片野宗隆君、福地正文君、後藤守君、宇野隆子君、以上１０人を指名いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（茅根猛君） ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました１０人を予算特別委員会の委員に選任することに決しました。

この際、委員会条例第８条第２項の規定により、委員長及び副委員長の互選をお願いいたします。互選されるまでの間、暫時休憩いたします。

午前１０時４８分休憩

午前１１時０４分再開

○議長（茅根猛君） 休憩前に引き続き再開いたします。

ただいま休憩中に開催されました委員会において、委員長及び副委員長が互選されましたので、ご報告いたします。

委員長、高星勝幸君、副委員長、福地正文君。

以上であります。

○議長（茅根猛君） 次に，議案第２号から議案第２５号まで，以上２４件については，お手元に配付いたしてあります議案等委員会付託表のとおり，それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

日程第２ 請願第１号

○議長（茅根猛君） 次に，日程第２，請願第１号保育制度改革に関する意見書提出を求める請願を議題といたします。

ただいま議題となっております請願第１号については，お手元に配付いたしてあります請願文書表のとおり，文教民生委員会に付託いたします。

○議長（茅根猛君） 以上で，本日の議事は議了いたしました。

次回は，３月１８日定刻より本会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

午前１１時０５分散会